



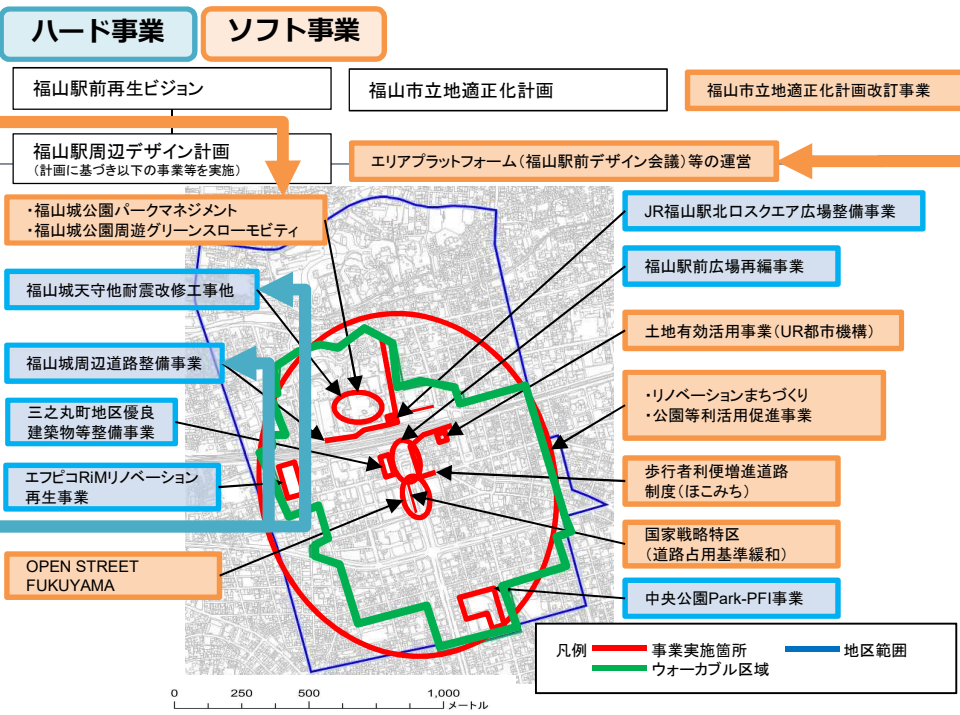
【立地適正化計画】
令和2年4月公表（都市機能誘導区域）
令和2年4月公表（居住誘導区域）
【都市再生整備計画（滞在快適性等向上区域）】
令和2年4月公表

○ 「“働く・住む・にぎわい”が一体となった福山駅前」をめざし、福山駅前デザイン会議（エリアプラットフォーム）にて、新たな日常を踏まえ、官民連携による公共空間の活用を検討し、駅周辺の公園や広場、街路空間の活用やグリーンスローモビリティの運行などハード・ソフトの両面から駅周辺をウォーカブルなまちに転換することで、駅周辺のエリア価値を高める経済循環を創出する。

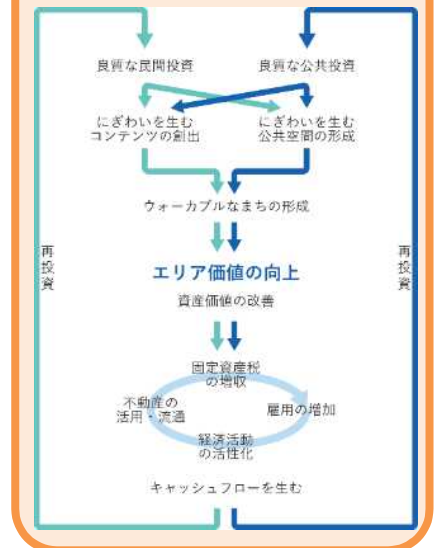
○福山駅周辺新モビリティサービス実証事業
福山駅周辺ウォーカブルエリアは、高齢者や体の不自由な方にとっては、乗り物なしでは移動が難しい広さである。誰もが移動しやすく、人の交流が活発になるように、福山城公園周遊グリーンスローモビリティの運行エリアを伏見町周辺エリアまで拡大し、店舗・施設・企業などの様々なサービスと連携させる新モビリティサービス事業の実証実験を行う。実証実験により、そのニーズと課題、事業性、社会受容性などを検証。

○公園緑地・広場の活用
2022年度の福山城築城400年に向けて、福山城公園の夜間景観及び福山城天守等の外観修景整備、福山城周辺の公共空間を再編、本市の歴史・文化資源である福山城公園の魅力高め、にぎわいを創出し、駅周辺のエリア価値を高める。

○街路空間の活用
福山城周辺道路整備事業や歩行者利便増進道路制度の活用、社会実験OPEN STREET FUKUYAMA、国家戦略特区における道路占用基準緩和等を通して、空間活用をめざす。



○エリア価値を高める経済循環
「福山駅前再生ビジョン」や「福山駅周辺デザイン計画」に基づいて、官民が良質な投資を行う。駅周辺においてにぎわいを生むコンテンツの創出や、にぎわいを生む公共空間の形成をすることで、駅周辺をウォーカブルなまちに転換し、エリア価値を高めていく経済循環を創出する。



目標設定

地価公示価格
福山5-1（福山市伏見町99番）の地価公示価格を増加基調に
（従前値）500千円/m²（令和元年）
→（目標値）500千円/m²以上（令和5年）

流動客数（伏見町内）
伏見町内（41番）の流動客数を増加基調に
（従前値）平日841人、休日881人（平成29年）
→（目標値）平日1,051人、休日1,101人（令和5年）

流動客数（三之丸町内）
三之丸町内（4番）の流動客数を増加基調に
（従前値）平日6,922人、休日6,960人（平成29年）
→（目標値）平日8,653人、休日8,700人（令和5年）